

他事業におけるトラブル事例について

(他事業の監視会議等で報告されたもの<平成24年分>)

事業名	発生年月日	件 名	概 要
豊 田	平成24年7月11日	タンクローリーからのSD受入時に圧抜き管からSDが漏洩	弁操作を誤ったため、SD（金属ナトリウム分散体）の送液時に防液堤内で漏洩（約230リットル）
	平成24年9月12日	管理目標値を超えるおそれのあるベンゼンの排出	排気中のベンゼンを吸着する活性炭槽のバイパス弁を誤って開放したため、管理目標値（50mg/Nm ³ ）を超えるおそれのあるベンゼンを含む排気ガスを排出
	平成24年1月15日	低濃度施設における絶縁油サンプリング装置から漏洩	サンプリング弁のパッキンの劣化により低濃度PCB液が室内漏洩（約20リットル）
東 京	平成24年2月29日	コンデンサ予備洗浄系統排気オンラインモニタリングPCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動
	平成24年4月19日	コンデンサ破砕排気オンラインモニタリングPCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動
	平成24年4月22日	大型トランス解体時の絶縁油漏洩	絶縁油拔出時に内部の異物により出口が詰まり、油が残留した状態で解体したため絶縁油が漏洩（約80リットル）
	平成24年7月24日	空加熱力ゴが台車から落下し右足首負傷	加熱バケット搬出作業にて空力ゴを台車からハンドウオークーキーに移す際、台車から力ゴが落下し、作業員の右足首後部に落下して負傷（休業災害）
	平成24年8月8日 (9月21日判明)	排水中DXNs分析結果の自主管理目標値超過	敷地内の最終放流槽における排水サンプリング分析の結果、協定に基づくダイオキシンの自主管理目標値5pg-TEQ/lを超える5.6pg-TEQ/lであったことが判明
大 阪	平成24年8月23日	コンデンサGB系排気オンラインモニタリングPCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動
	平成24年1月11日	ローディング室でトラックの幌を外す作業中に転落	構内搬送用トラックの幌を外す作業中に、荷台（高さ約1.7メートル）から落下し右手を骨折（休業災害）
	平成23年12月16日 (1月30日判明)	排出源モニタリングにおけるDXNs濃度の自主管理目標値超過	処理施設東棟の排ガスサンプリングの結果、高濃度ベントガス系列排気口の測定値が自主管理目標値（0.1ng-TEQ/Nm ³ ）を超える0.32ng-TEQ/Nm ³ であったことが判明
	平成24年2月1日	VTR回収液を分離回収PCB専用容器に注入後に漏洩	PCBを含有する油を容器に充填した際、ホース接合部のつまみにより空気抜きが不十分で内圧が生じ、ホースを外した際に内部の油が漏洩（約6リットル）
	平成24年3月14日	車載トランス粗解体中に小火の発生	トランス筐体の切断時に発生する火花が内部に残留していた油に着火。消火器にて直ちに消火。

事業名	発生年月日	件 名	概 要
北海道	平成24年1月6日	液処理エリアにおける洗浄液の漏洩	真空超音波洗浄装置の真空ポンプ冷却ラインのフレキシブルホースのピンホールから洗浄液が漏洩（約5リットル）
	平成24年2月9日	冷水ユニットからの冷媒ガスの漏洩	冷凍機の冷媒（フルオロカーボン407E）が配管のクラックから漏洩（約85kg）
	平成24年2月24日	トランス粗解体装置における車載トランス本体切削中の小火	トランス筐体の切断時に発生する火花が内部に残留していた油に着火。難燃性マット等にて直ちに消火。
	平成24年5月4日	コンデンサ手解体装置 集液ボックスからの洗浄液の漏洩	使用済み洗浄液を集液するボックスの出口側の不具合によりオーバーフローし室内漏洩（約35リットル）
	平成24年6月7日	計器用変成器（小型トランス類）の予備洗浄作業における洗浄液の漏洩	洗浄液の給液ホースを抜液ホースと誤認して外したため室内漏洩（約30リットル）
	平成24年9月4日	減容圧縮機油圧ユニットポンプ作動油のオイルパ ンへの漏洩	油圧ユニットポンプの部品の緩みにより、作動油が室内漏洩（約5リットル）
北海道 増設	平成24年9月6日	高所作業車からの落下	後ろ向きで高所作業車から降りようとした際、足をステップから踏み外して高さ1.3mのところから落下し、後頭部と肩を打ち、硬膜下出血等を発症（休業傷害）
	平成24年11月9日	内部単管足場からの落下	昇降用梯子を使用すべきところを内部単管足場を使って降りようとした際、足を滑らせて高さ1.6mからコンクリート製の床面に飛び降り、かかとを骨折（休業傷害）

(参考)

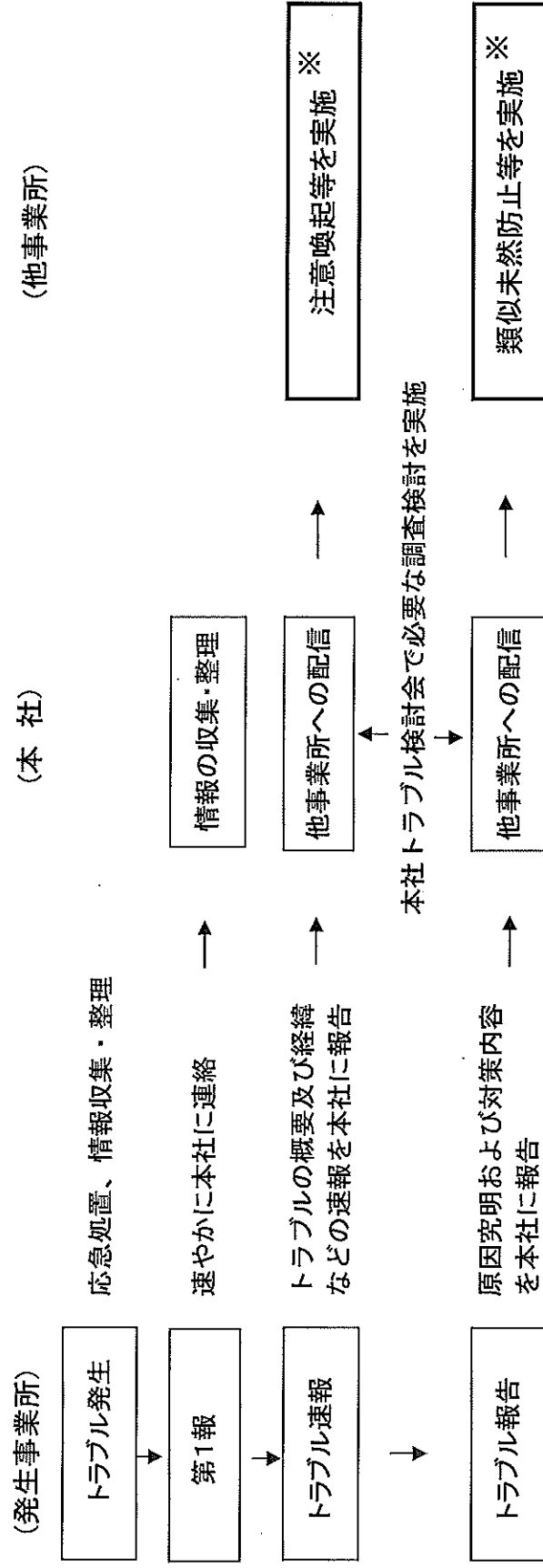
事業名	発生年月日	件 名	概 要
北九州	平成24年9月22日	2期施設溶剤蒸留設備スラッジコレクタB蓋部より洗浄液の漏洩	スラッジコレクタB蓋のパッキングが劣化によりシール不良となり洗浄液が漏洩（約20リットル）

○トラブル発生に伴う他事業所への水平展開について

●水平展開の実施状況

事業所で発生したトラブル情報は本社に報告され、各事業所には本社より速やかに情報を配信し、類似トラブルの未然防止対策などの水平展開がされる。

●社内の水平展開フロー図



※ 当事業所の水平展開については、本社からの情報に基づき、必要に応じ運転会社に対しても情報を共有のうえ、関連する設備、機器又は作業手順等について点検を行い、同様のトラブル事象の未然防止対策を講じることで安全運転並びに適正処理等に役立てております。